

よみがえる国宝 ー守り伝える日本の美ー 関連イベント

■特別展講演会

場所：1F ミュージアムホール 定員：280名（入場無料）
（主催：九州国立博物館 後援：九州文化財国際交流基金）

守り伝える日本の宝

7月23日（土） 10:30～12:00

「寺宝を守り継ぐ ー神護寺の歴史と宝物ー」

谷内 弘照（高野山真言宗遺迹本山高雄山神護寺貫首）



昭和30年（1955）、京都生まれ。
1974年、戒師亀山弘応和上に従い得度。
1978年、高野山大学密教科を卒業。
同年、高野山宝壽院道場にて伝授阿闍梨添田隆俊和上に従い中院流により加行成満。
同年、大阿闍梨添田隆俊和上に従い中院流により伝法灌頂入壇。
1979年、先々代住職谷内乾岳師のもと神護寺に奉職。
1986年、書道家小峰鐵彰師に師事。
1989年、篆刻家山下方亭師に師事。
2004年、神護寺塔頭地藏院住職に就任。
2007年、神護寺住職に就任。

神護寺は京都市右京区高雄にあり、本尊は薬師如来、開基は和氣清麻呂です。清麻呂の子息達は、最澄、空海を招き仏教界に新風を吹き込みます。やがて、一切を空海に付嘱し真言宗として今日に伝えています。鳥羽法皇の怒りに触れ全山壊滅、文覚により再興が決意され上覚や明恵という弟子に恵まれ復興されました。

天文年中の兵火や明治初年の廃仏毀釈にも消えることなく法灯を護持しています。神護寺が歴史上重要な地位を占めるのは、その由緒と度重なる盛衰の歴史に耐えた数多くの文化財を保有することにあります。

【お申し込み先】

〒810-0001

福岡市中央区天神 1-4-1

西日本新聞イベントサービス内

「よみがえる国宝」係

先着順に締切とさせていただきます。

【お問い合わせ先】

TEL 092-711-5491

平日 10:00～17:00 まで



神護寺